



公 明 党 昭 島 総 支 部

赤沼やすおの議会だより

A K A N U M A ' S N E W S

vol.49



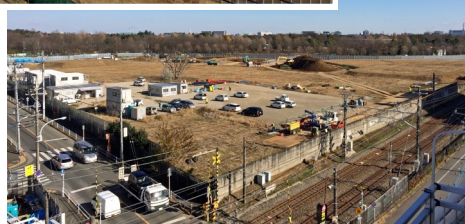
2016年1月 発行

発行者：赤沼やすお
電話：(545) 1820

住所：郷地町3-8-9
ホームページ：http://www.akanuma.org

昭島市実施計画 平成28年度～30年度 が明らかに

工事が進む国際法務総合センター（中央）、北口交通広場（右下）
昭3・2・3号線付近（左下）の様子



平成²⁷年12月15日、平成²⁷年第4回定例会閉会後に行われた全員協議会において昭島市実施計画が報告された。これは、平成²⁸年度からの3力年にわたる計画期間中の事業量を示すもので、これまで市民の皆様からご要望をいただき、予算要望や議会質問等を通じて訴えてきたものが多数反映されている。

主な事業と予算

(単位 千円)

事業名	内容	事業費
東中神駅自由通路等整備事業	用地取得・工事等	3,414,300
(仮称)教育福祉総合センター整備事業	設計・工事	2,875,800
市民交流センター建替事業	調査・概略設計	10,200
新地方公会計制度対応事業	システム構築等	12,640
クリーンセンター敷地有効利用事業	施設の解体等	336,700
地域子育て支援拠点（つどいのひろば）事業	つどいのひろば開設	8,400
コンビニ交付システム導入事業	住民票等の交付	90,340

財政の「見える化」 公共施設総合管理計画の取り組みについて

公共施設の更新問題は、更新の時期と高齢化・人口減少による財政状況の悪化が同時にやってくることから、自治体財政が抱える時限爆弾とも言われる喫緊の課題。

【問①】昭島市の公共施設総合管理計画策定の進捗状況については？

【答①】本年度は建物情報やインフラ等の現状把握、中長期的な経費見込みの分析、取組方針等を検討し、市民アンケート調査を実施する予定。

公共施設の更新問題で神奈川県秦野市は先進自治体として有名。

【問②】担当職員や部課長が秦野市を視察し、昭島市の計画に反映させることについては？

【答②】必要に応じて職員の視察なども含め、先進市の取組状況も

参考にしながら、策定作業を進めたい。

安全・安心のまちづくり 洪水ハザードマップについて

災害に対して備えを進めるためには、発生する被害をできるだけ具体的にイメージできることが重要。

【問①】小河内ダム決壊のシミュレーションや、家屋倒壊危険ゾーン」水が到達する時間」等、考えうるあらゆる情報を反映させながら洪水ハザードマップを改正すべきでは？

【答①】来年の出水期前に国土交通省が公表予定の新たな多摩川浸水想定区域図をもとに改正したい。

台風等の風水害は、台風等が発生してから被害が生じるまで時間があるため、先を見越した対応（タイムラインの作成）により減災が可能。

【問②】作成に対する市の考えは？

【答②】京浜河川事務所とともに、気象・水象情報を基にしたタイムライン作成を行いたい。

【問③】意識啓発のために電柱等に浸水想定水位や、避難所の方向等の標識を設置することについては？

【答③】先進自治体の例を参考に調査・研究したい。

【問④】洪水ハザードマップや「東京防災」を活用し、より実践的な防災訓練を積極的に推進すべきでは？

【答④】平成28年1月からの社会保険・税番号制の導入に伴う個人番号カードの発行開始に合わせ、具体的な検討を進める。

【問⑤】福島町三丁目地先の多摩川堤防沿いの歩道部分に、照明を設置すべきでは？

【答⑤】どのような対応が可能か調査・研究する。



「平成28年度 予算編成に関する要望書」を提出



11月9日、公明党昭島市議団は平成28年度予算編成に関する要望書を北川穰一市長に提出しました。全184項目からなる本要望書は、日頃、皆様からいただいた声をもとに作成したものです。

皆様の声を市政に反映させながら住み続けた昭島づくりをさらに推進します。

今夏の第24回参院議員通常選挙の公認を発表

【第1次公認・選挙区】

東京 竹谷とし子 現
埼玉 西田まこと 現
大阪 石川ひろたか 現

【第2次公認・選挙区】

神奈川 三浦のぶひろ 新
愛知 里見りゅうじ 新
福岡 高瀬ひろみ 新

【第1次公認・比例区】

長沢ひろあき 現
よこやま信一 現
浜田まさよし 現
谷あい正明 現
あきの公造 現

【第2次公認・比例区】

熊野せいし 新

公明党は昨年9月10日、第24回参院議員通常選挙の選挙区3人、比例区5人の第1次公認を発表し、10月1日には第2次公認として選挙区3人、比例区1人を追加公認した。



東京
選挙区

定数6

たけやこ
竹谷とし子 (現)

公認会計士。党女性委員会副委員長、同東京都本部副代表。北海道・標津町生まれ。創価大学経済学部を卒業後、監査法人、経営コンサルティング会社執行役員を経て、2010年の参院選（東京選挙区）で初当選。財務大臣政務官（第3次安倍内閣、第2次安倍改造内閣）のほか、参院災害対策特別委員長などを歴任。46歳。

ながさわ
比例区 **長沢ひろあき (現)**

党中央幹事、同東京都本部顧問。東京都出身。東洋大学社会学部を卒業後、公明新聞政治部副部長を経て2003年の衆院選（比例北関東ブロック）で初当選。その後、2010年の参院選（比例区）で当選。選挙対策委員長代理、参議院国会対策委員長、総務副部会長、厚生労働部会長代理、経済産業副部会長、関東方面副本部長などを歴任。57歳。



市議会議員 赤沼やすお通信

No.49 2016.01

<http://www.akanuma.org>

水が溜る道路を補修

玉川町1丁目10番先の都道は雨水が溜るため、水溜りを避ける歩行者などが、歩道から車道に出てしまう状態だった。接触事故を危惧する地元住民の声を都に伝えたところ、道路補修が施された。



皆様の声が反映されました

水が溜る道路を補修

中神町2丁目19番地の先の道路は、経年劣化により雨水が溜りやすく、通行にも支障をきたす状態だった。改善を求める地域住民の声を市に伝えたところ、写真のように、路面補修が行われた。



ご要望・ご相談はお気軽に
赤沼やすお

電話：(545)1820
住所：郷地町3-8-9
E-mail：aka_fab4@yahoo.co.jp

今後の『都営住宅』の募集

- 2月上旬に ①家族向け（ポイント方式）
- ②単身者向 ③単身者用車いす使用者向
- ④シルバーピア等を予定

※申込み用紙をご希望の方は赤沼やすおまで・・・
ご自宅にお届けします。



◎日刊：1ヶ月 1,887円（税込）
購読のお申し込みは赤沼やすおまで